

4. 仕事と生活のバランスについて

A 仕事と生活のスタイル

(1) 現在の生活スタイルと理想の生活スタイル

(1) 現在の生活スタイルと理想とする生活スタイルは何ですか。【それぞれ1つに○】

①現在の生活スタイル

現在の生活スタイルについては、「仕事、家庭・個人生活を両立」が40.9%と最も多く、次いで「仕事を優先」(39.8%)、「家庭・個人生活を優先」(14.8%)の順となっている。

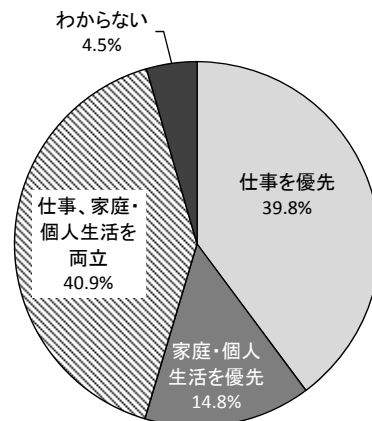
前回調査との比較では、「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が6.5ポイント増加し、「仕事を優先」の割合が5.6ポイント減少している。

性別で見ると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「仕事を優先」の割合が高くなっている。

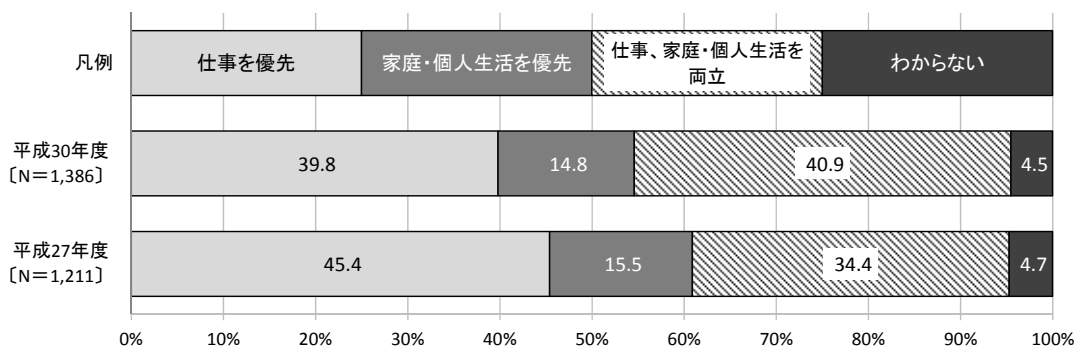
性別・年代別で見ると、〈男性〉では、20歳以上59歳以下で「仕事を優先」の割合が、60歳以上で「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が高くなっている。また、〈女性〉では、20歳以上29歳以下で「仕事を優先」の割合が、30歳以上で「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は〈非正規〉に比べ、「仕事を優先」の割合が高い。〈自営業 他〉では「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が「仕事を優先」に比べ、やや高くなっている。

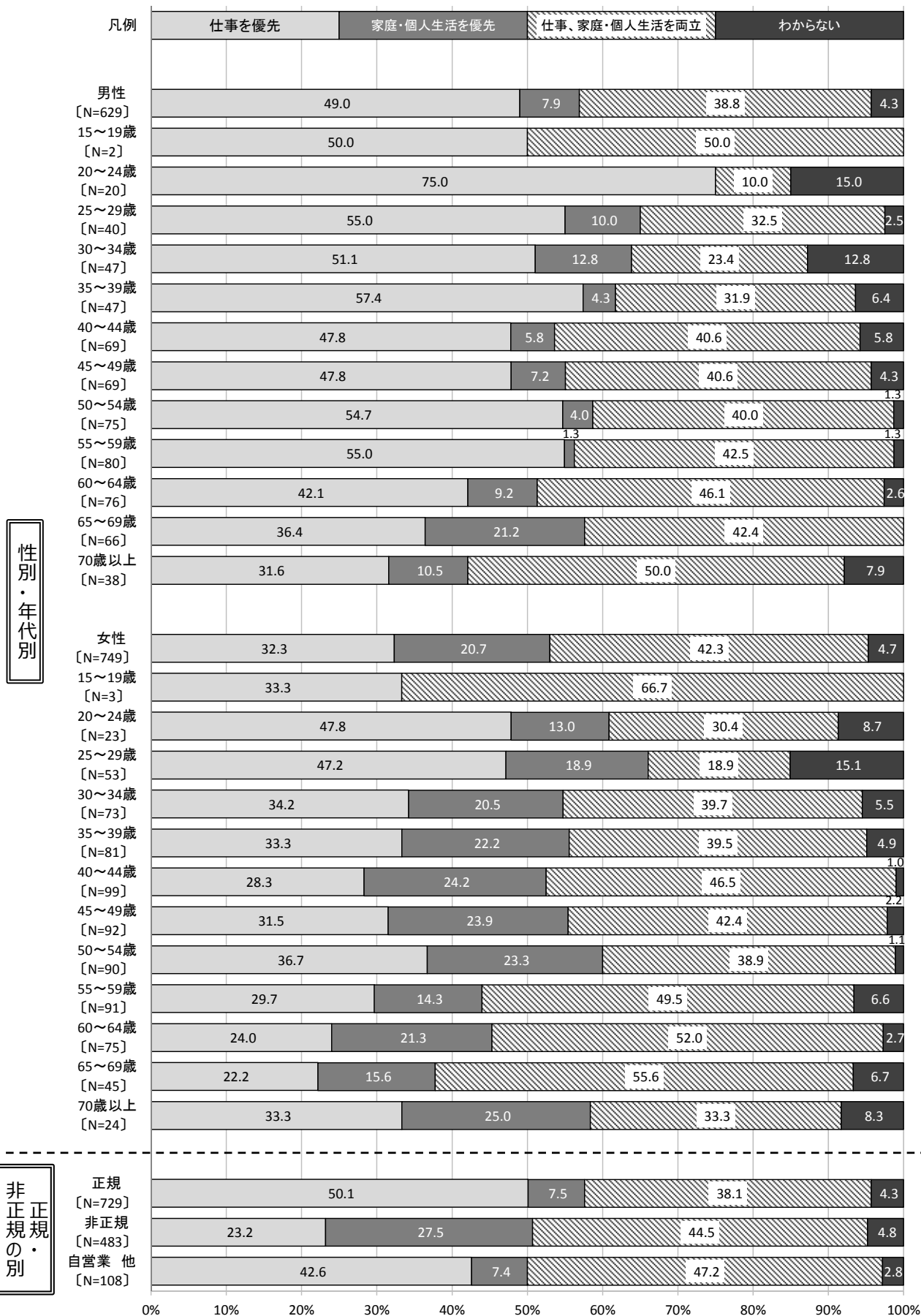
■現在の生活スタイル〔回答数=1,386〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（現在の生活スタイル）】



性別・年代別

非正規の別

②理想の生活スタイル

理想の生活スタイルについては、「仕事、家庭・個人生活を両立」が71.4%と最も多く、次いで「家庭・個人生活を優先」(23.3%)、「わからない」(3.4%)の順となっており、(1)の現在の生活スタイルと比較すると、「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が大幅に増加している。

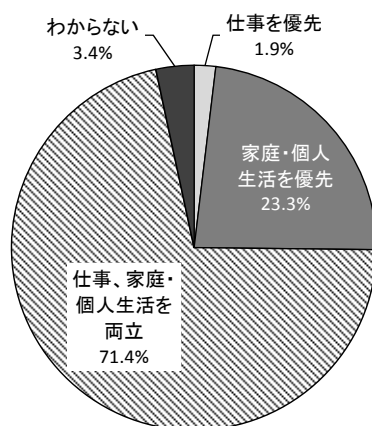
前回調査との比較では、特に大きな差は見られない。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が最も高くなっている。

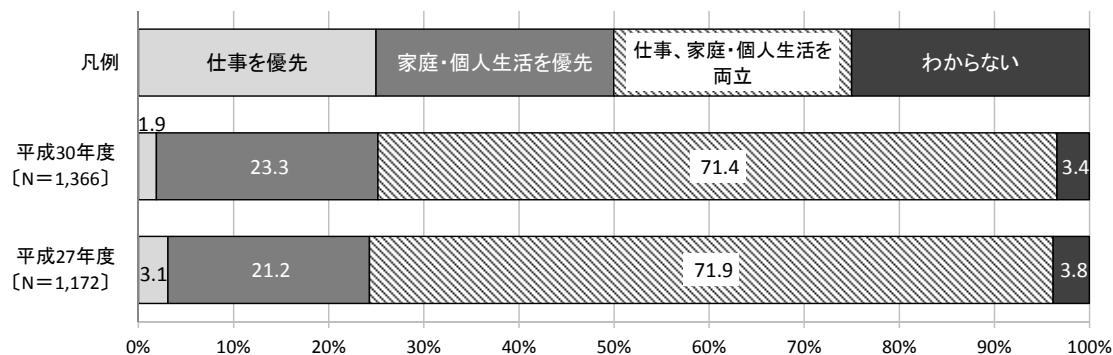
性別・年代別でも、いずれも「仕事、家庭・個人生活を両立」の割合が最も高くなっている。

正規・非正規の別でも、特に大きな差は見られない。

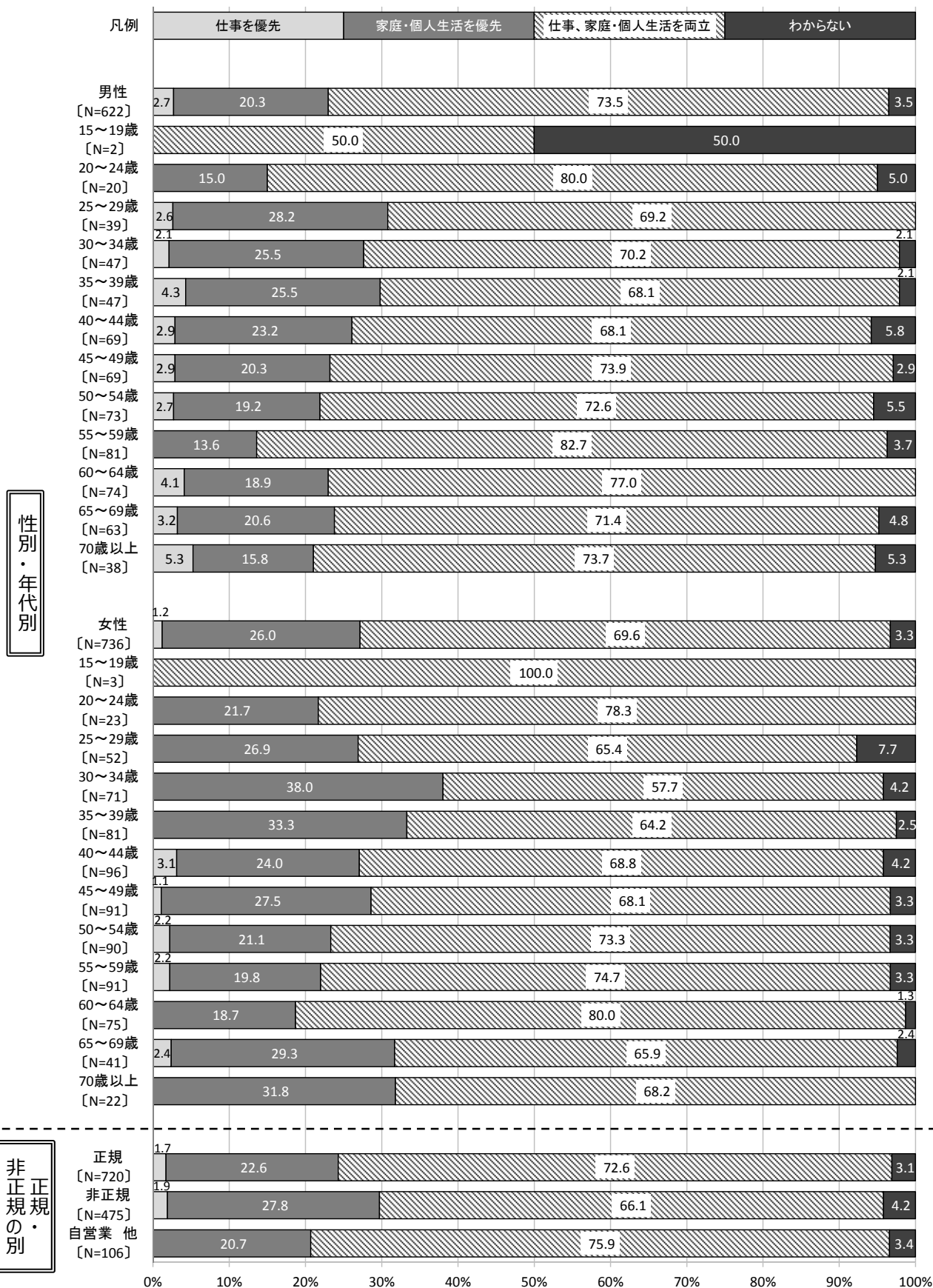
■理想の生活スタイル〔回答数=1,366〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（理想の生活スタイル）】



性別・年代別

非正規の別

(2) 仕事と生活の両立を勧めている職場か

： (2) あなたの職場は仕事と生活の両立を勧めていると思いますか【1つに○】

仕事と生活の両立を勧めている職場かどうかについては、「ややそう思う」が 38.4%と最も多く、「あまり思わない」(23.4%)、「そう思う」(23.0%) の順となっている。

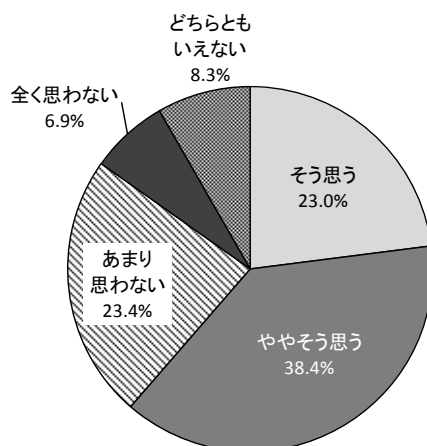
前回調査との比較では、「ややそう思う」の割合が微増しており、「そう思う」と合わせた割合が6割を超えている。

性別で見ると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「あまり思わない」、「全く思わない」の割合が高くなっている。

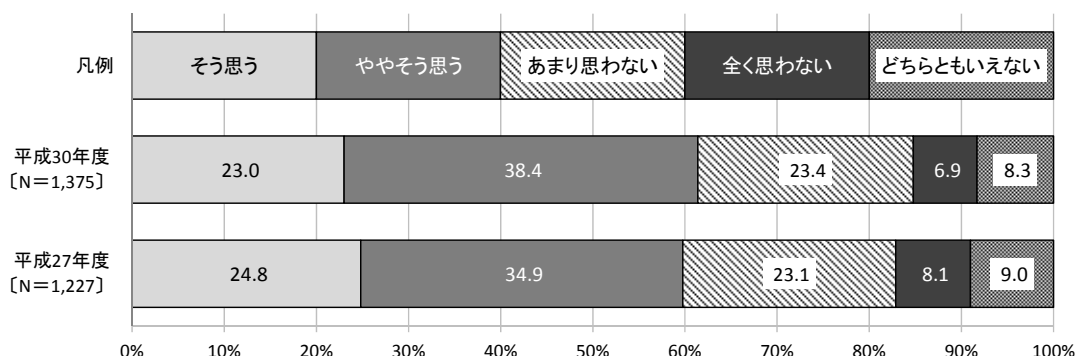
性別・年代別で見ると、〈男性〉の〈25～29歳〉で「あまり思わない」と「全く思わない」が5割となっている。

正規・非正規の別で見ると、〈自営業 他〉で「そう思う」の割合が最も高くなっている。

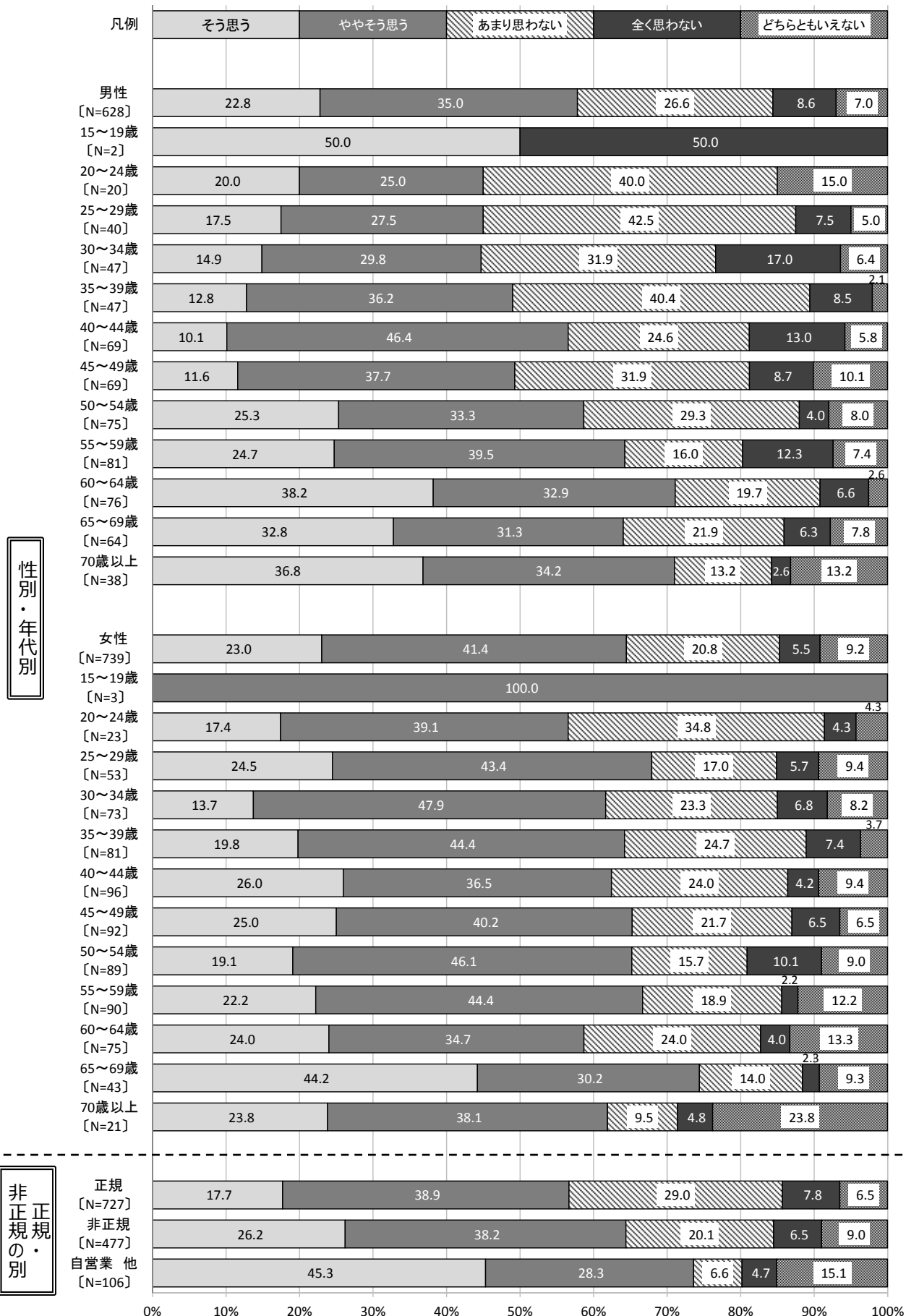
■仕事と生活の両立を勧めている職場か〔回答数=1,375〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（仕事と生活の両立を勧めている職場か）】



(3) 仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組

： (3) 仕事と生活のバランスを図る上で、有効だと思う会社の取組は何だと思いますか。
 ： 【いくつでも〇】

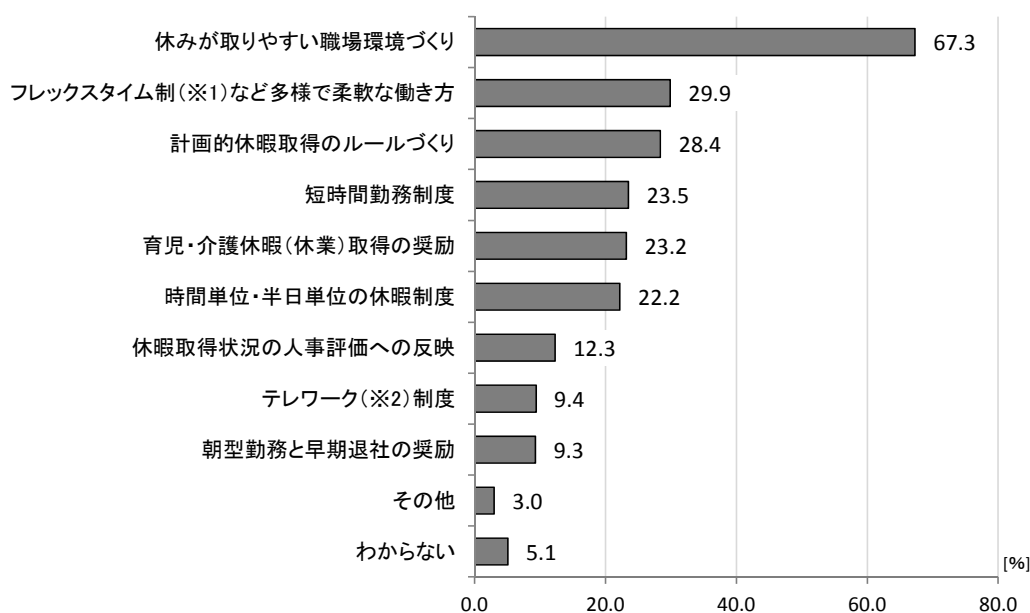
仕事と英傑のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組については、「休みが取りやすい職場環境づくり」が67.3%と最も高く、次いで「フレックスタイム制など多様で柔軟な働き方」(29.9%)、「計画的休暇取得のルールづくり」(28.4%)の順となっている。

性別で見ると、〈男性〉〈女性〉ともに「休みが取りやすい職場環境づくり」の割合が最も高くなっている。

性別・年代別で見ると、〈女性〉の25歳以上34歳以下で「育児・介護休暇(休業)取得の奨励」の割合が高くなっている。また、30歳以上54歳以下で「時間単位・半日単位の休暇制度」の割合が比較的高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、いずれも「休みが取りやすい職場環境づくり」の割合が最も高いが、〈正規〉では「計画的休暇取得のルールづくり」の割合も高くなっている。

■仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組〔回答数=1,371〕



※1 フレックスタイム制：就業規則により、労働者が労働時間の始めと終わりを選択する制度

※2 テレワーク：在宅勤務やオフィス以外の自宅に近い施設での勤務など場所や時間にとらわれない働き方

【性別・年代別／正規・非正規の別（仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組）】

※■は第1位、■は第2位、■は第3位の項目

上段:回答数 下段:回答割合(%)		合計	短時間勤務制度	フレックスタイトム制など 多様で柔軟な働き方	計画的休暇取得の ルールづくり	時間単位・半日単位の 休暇制度	テレワーク制度	休暇取得状況の人事評価 への反映	(育児・介護休暇 取得の奨励)	早期退職の奨励	休みが取りやすい 職場環境づくり	その他	わからない	
男性	小計	625 100.0	114 18.2	179 28.6	215 34.4	99 15.8	57 9.1	85 13.6	106 17.0	64 10.2	392 62.7	18 2.9	39 6.2	
	15～19歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	
	20～24歳	20 100.0	6 30.0	5 25.0	5 25.0	1 5.0	-	2 10.0	2 10.0	2 10.0	16 80.0	-	1 5.0	
	25～29歳	39 100.0	3 7.7	9 23.1	14 35.9	7 17.9	2 5.1	7 17.9	10 25.6	4 10.3	31 79.5	1 2.6	3 7.7	
	30～34歳	47 100.0	6 12.8	14 29.8	20 42.6	9 19.1	6 12.8	14 29.8	11 23.4	5 10.6	31 66.0	1 2.1	4 8.5	
	35～39歳	47 100.0	5 10.6	17 36.2	23 48.9	8 17.0	4 8.5	7 14.9	5 10.6	4 8.5	4 7.3	33 70.2	-	-
	40～44歳	69 100.0	10 14.5	23 33.3	20 29.0	6 8.7	6 8.7	14 20.3	8 11.6	8 11.6	8 72.5	3 4.3	5 7.2	
	45～49歳	69 100.0	13 18.8	21 30.4	25 36.2	9 13.0	8 11.6	10 14.5	11 15.9	11 15.9	11 62.3	-	5 7.2	
	50～54歳	75 100.0	18 24.0	24 32.0	32 42.7	18 24.0	9 12.0	9 12.0	17 22.7	7 9.3	7 57.3	1 1.3	3 4.0	
	55～59歳	81 100.0	10 12.3	21 25.9	31 38.3	17 21.0	7 8.6	7 8.6	15 18.5	6 7.4	6 65.4	3 3.7	4 4.9	
	60～64歳	76 100.0	17 22.4	23 30.3	21 27.6	7 9.2	7 9.2	7 9.2	12 15.8	8 10.5	8 56.6	2 2.6	4 5.3	
	65～69歳	63 100.0	16 25.4	14 22.2	14 22.2	10 15.9	7 11.1	6 9.5	11 17.5	3 4.8	3 58.7	2 3.2	6 9.5	
	70歳以上	37 100.0	9 24.3	8 21.6	10 27.0	7 18.9	1 2.7	2 5.4	4 10.8	6 16.2	6 29.7	4 10.8	4 10.8	
	女性	小計	738 100.0	207 28.0	231 31.3	174 23.6	205 27.8	72 9.8	83 11.2	210 28.5	61 8.3	525 71.1	22 3.0	30 4.1
15～19歳		3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-	3 100.0	-	-	
20～24歳		23 100.0	12 52.2	8 34.8	4 17.4	7 30.4	3 13.0	2 8.7	7 30.4	3 13.0	16 69.6	1 4.3	-	
25～29歳		52 100.0	16 30.8	18 34.6	17 32.7	12 23.1	2 3.8	5 9.6	20 38.5	3 5.8	36 69.2	3 5.8	3 5.8	
30～34歳		73 100.0	27 37.0	26 35.6	22 30.1	28 38.4	12 16.4	10 13.7	29 39.7	11 15.1	56 76.7	1 1.4	1 1.4	
35～39歳		81 100.0	30 37.0	34 42.0	22 27.2	26 32.1	11 13.6	8 9.9	29 35.8	6 7.4	60 74.1	2 2.5	6 7.4	
40～44歳		99 100.0	29 29.3	28 28.3	20 20.2	33 33.3	10 10.1	13 13.1	29 29.3	6 6.1	74 74.7	3 3.0	2 2.0	
45～49歳		93 100.0	15 16.1	35 37.6	17 18.3	32 34.4	9 9.7	8 8.6	31 33.3	9 9.7	67 72.0	5 5.4	2 2.2	
50～54歳		89 100.0	25 28.1	26 29.2	21 23.6	28 31.5	8 9.0	16 18.0	22 24.7	12 13.5	68 76.4	3 3.4	1 1.1	
55～59歳		91 100.0	19 20.9	28 30.8	17 18.7	22 24.2	8 8.8	9 9.9	24 26.4	5 5.5	59 64.8	3 3.3	6 6.6	
60～64歳		76 100.0	22 28.9	16 21.1	14 18.4	12 15.8	4 5.3	7 9.2	12 15.8	2 2.6	52 68.4	1 1.3	3 3.9	
65～69歳		42 100.0	8 19.0	7 16.7	15 35.7	4 9.5	4 9.5	2 4.8	6 14.3	3 7.1	27 64.3	-	4 9.5	
70歳以上		16 100.0	4 25.0	5 31.3	4 25.0	1 6.3	1 6.3	3 18.8	1 6.3	1 6.3	7 43.8	-	2 12.5	
非正規の別		正規	727 100.0	152 20.9	224 30.8	245 33.7	168 23.1	69 9.5	116 16.0	168 23.1	80 11.0	508 69.9	28 3.9	25 3.4
	非正規	478 100.0	132 27.6	137 28.7	105 22.0	107 22.4	44 9.2	39 8.2	111 23.2	34 7.1	332 69.5	10 2.1	25 5.2	
	自営業 他	101 100.0	23 22.8	30 29.7	20 19.8	18 17.8	8 7.9	8 7.9	20 19.8	7 6.9	42 41.6	3 3.0	17 16.8	

B 労働時間

(1) 1日の勤務時間

(1) 1日の勤務時間はおおむね何時間ですか（※休憩時間を除く）。【1つに○】

1日の勤務時間については、「8時間以上」が54.6%と最も多く、次いで「7時間」(21.3%)、「6時間」(8.3%)の順となっている。

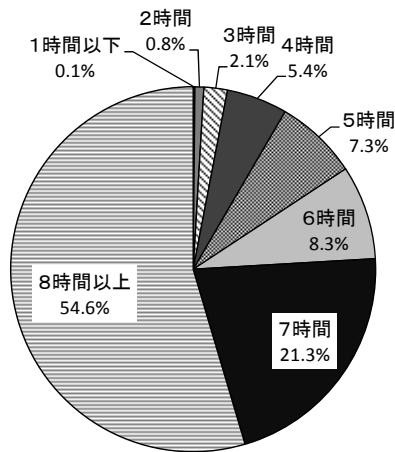
前回調査との比較では、「8時間以上」の割合が微増している。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「8時間以上」の割合が高く、7時間以下の割合が低い。

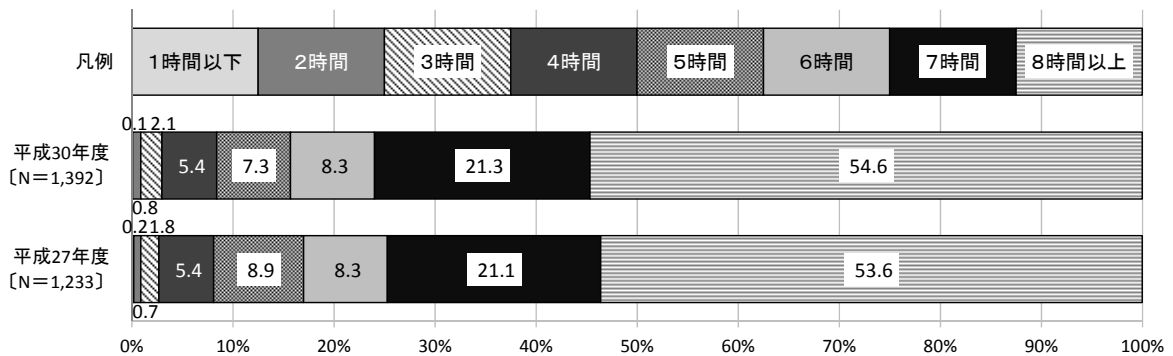
性別・年代別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに15歳以上59歳以下では「8時間以上」の割合が最も高く、年齢が上がるにつれて短時間勤務の割合が高くなる傾向にある。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉〈自営業 他〉で「8時間以上」の割合が最も多く、〈正規〉では約8割を占めている。〈非正規〉では勤務時間に特に大きな偏りは見られない。

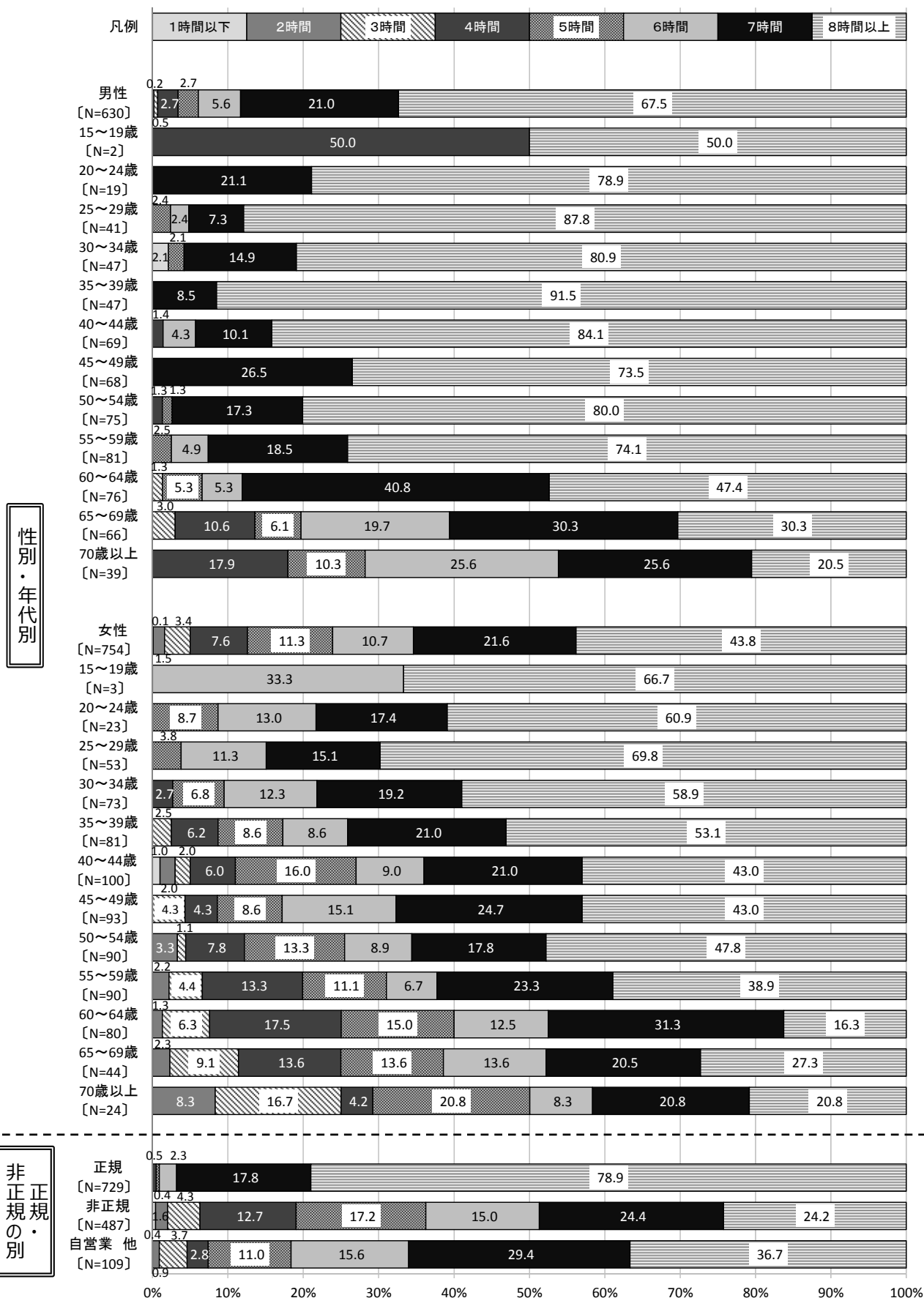
■ 1日の勤務時間〔回答数=1,392〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（1日の勤務時間）】



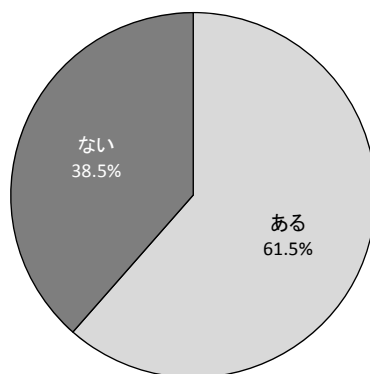
(2) 時間外労働

(2) 時間外労働（残業）をすることがありますか。【1つに○】

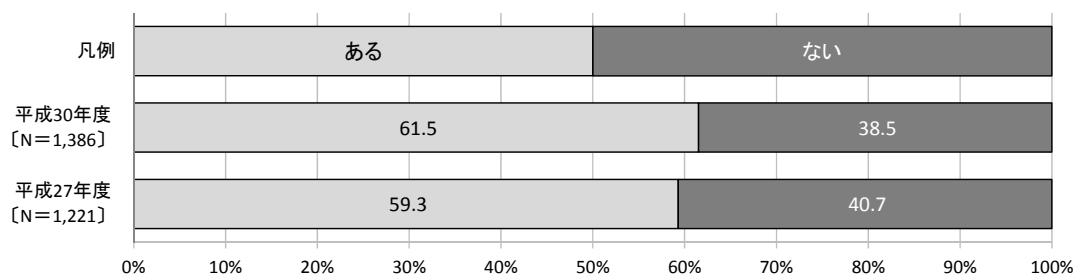
①時間外労働の有無

時間外労働の有無については、「ある」が61.5%、「ない」が38.5%となった。
前回調査との比較では、「ある」の割合が2.2ポイント増加している。
性別でみると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「ある」の割合が高く、7割を超えている。
正規・非正規の別でみると、〈正規〉は「ある」の割合が8割を超えている。

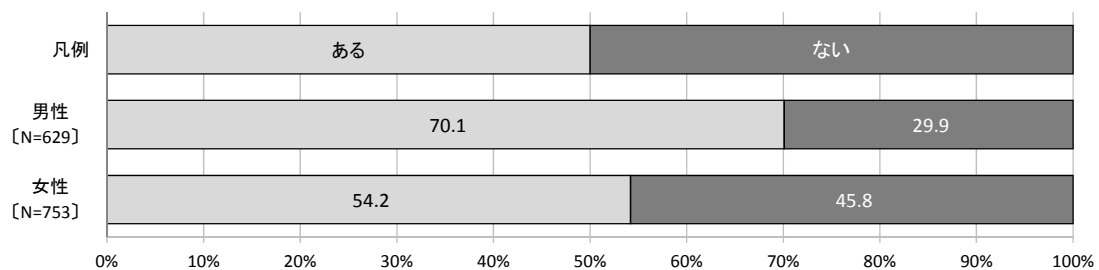
■時間外労働の有無〔回答数=1,386〕



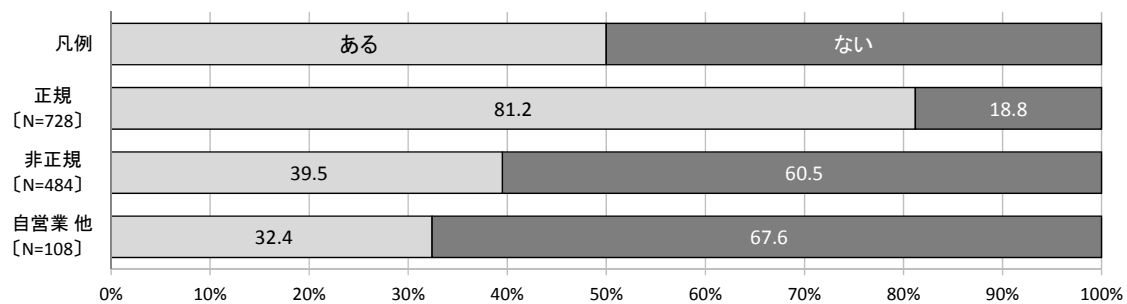
【前回調査との比較】



【性別（時間外労働の有無）】



【正規・非正規の別（時間外労働の有無）】



② 1 か月平均の時間外労働時間

1 か月平均の時間外労働時間については、「10 時間未満」が 35.1%と最も多く、次いで「10 時間以上 20 時間未満」(18.6%)、「20 時間以上 30 時間未満」(16.6%) の順となっている。

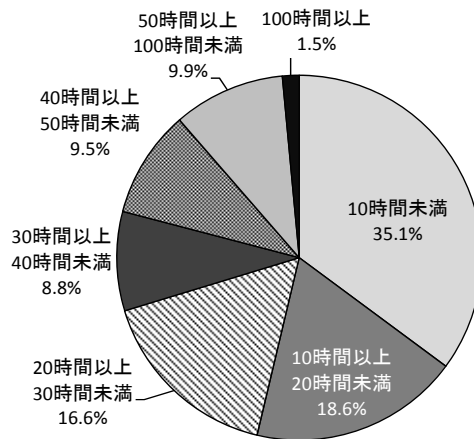
前回調査との比較では「10 時間未満」の割合が 5.6 ポイント増加している。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「10 時間未満」の割合が低く、「50 時間以上 100 時間未満」の割合が高くなっている。

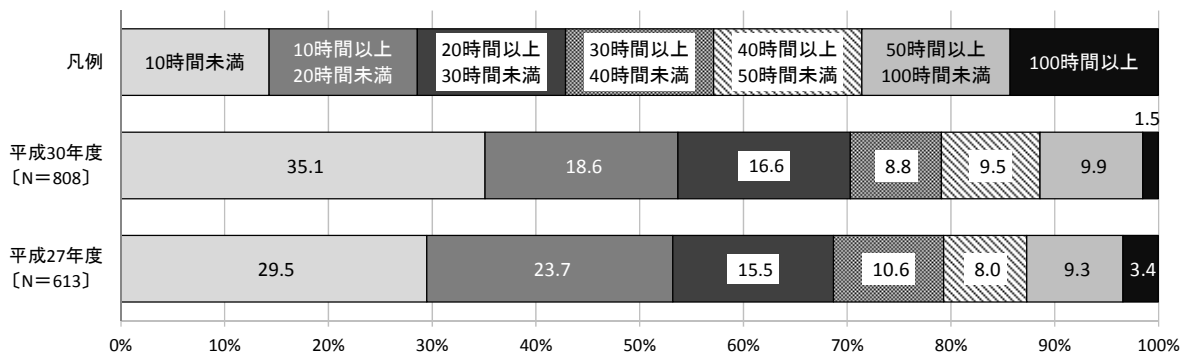
性別・年代別でみると、〈男性〉では 20 歳以上 29 歳以下で「50 時間以上 100 時間未満」が約 3 割を占めている。また、〈女性〉では、いずれの年代でも「10 時間未満」の割合が最も高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉は〈非正規〉、〈自営業 他〉に比べ、「10 時間未満」の割合が低く、「20 時間以上 30 時間未満」「50 時間以上 100 時間未満」の割合が高くなっている。

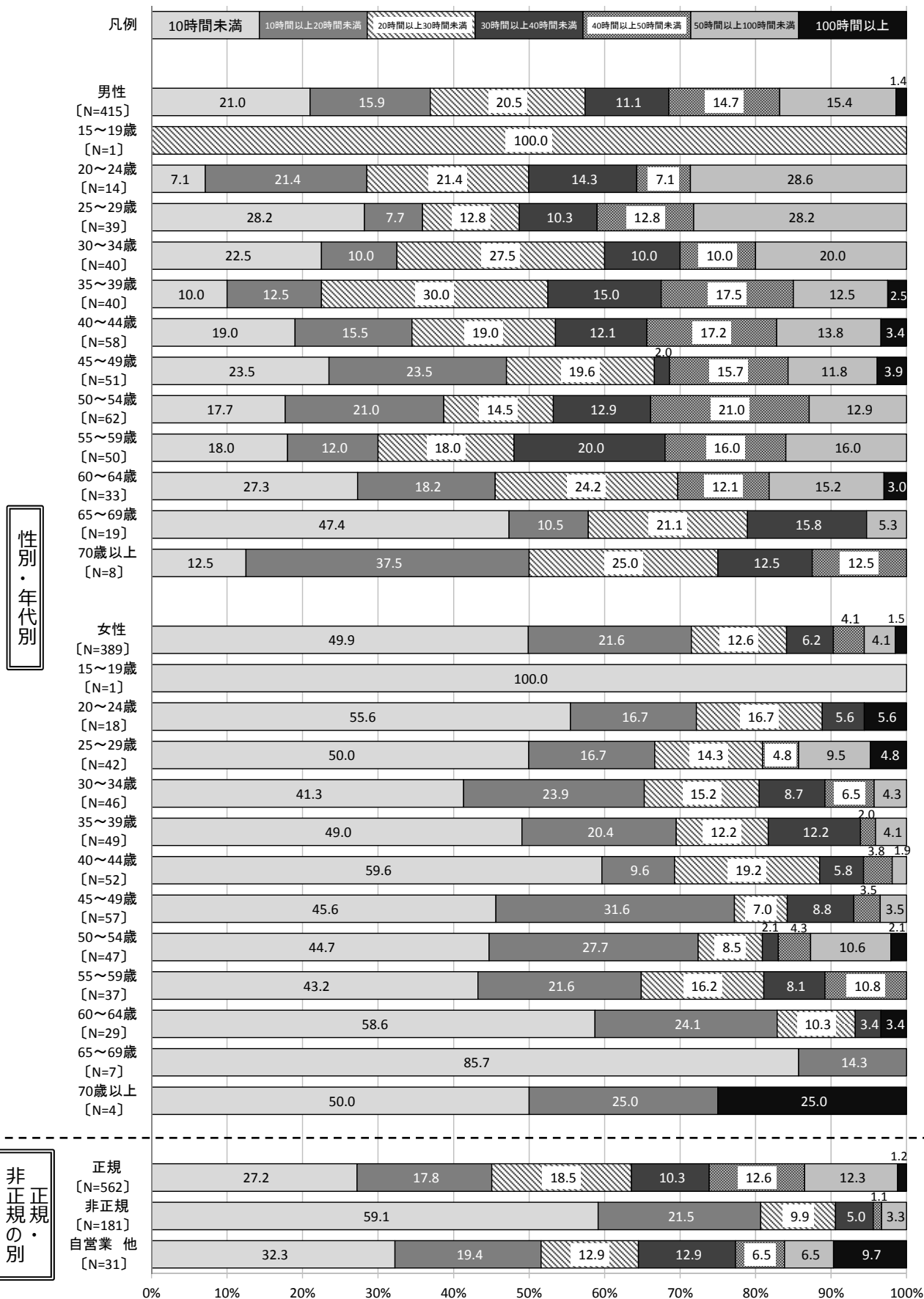
■ 1 か月平均の時間外労働時間〔回答数 = 808〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（1か月平均の時間外労働時間）】



(3) 時間外労働が発生する原因

： (3) 時間外労働が発生する一番の原因は何だと思いますか。【1つに〇】
 ：

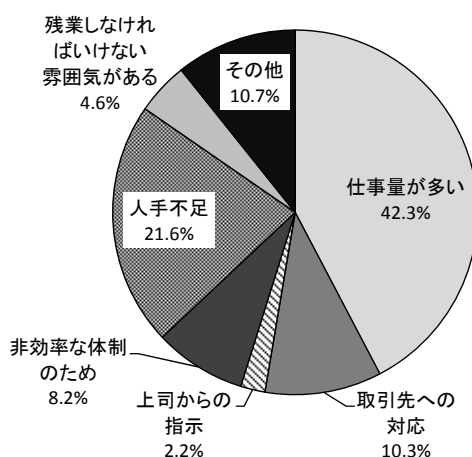
時間外労働が発生する一番の原因については、「仕事量が多い」が42.3%と最も多く、次いで「人手不足」(21.6%)、「取引先への対応」(10.3%)の順となっている。

前回調査との比較では、「仕事量が多い」などの割合が微増となっているが、特に大きな差は見られない。

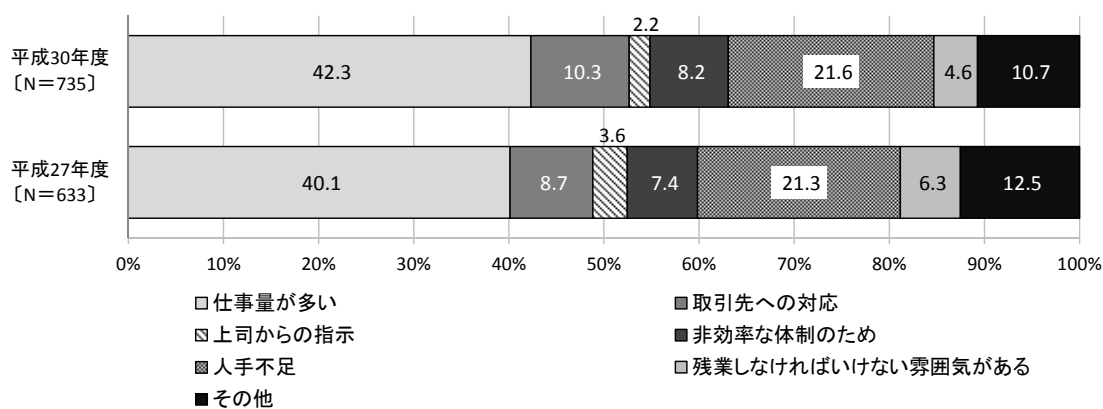
性別でみると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「仕事量が多い」、「人手不足」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈非正規〉は〈正規〉、〈自営業 他〉に比べ、「人手不足」の割合が高くなっている。

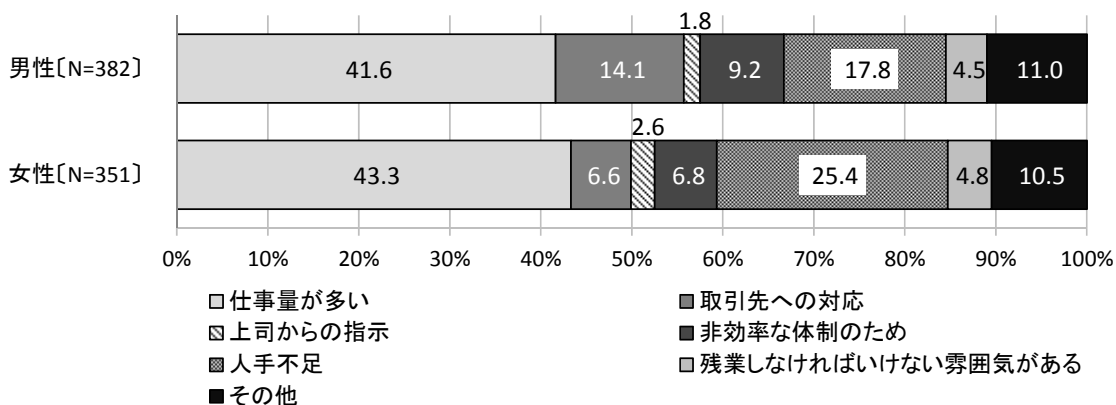
■時間外労働が発生する原因〔回答数=735〕



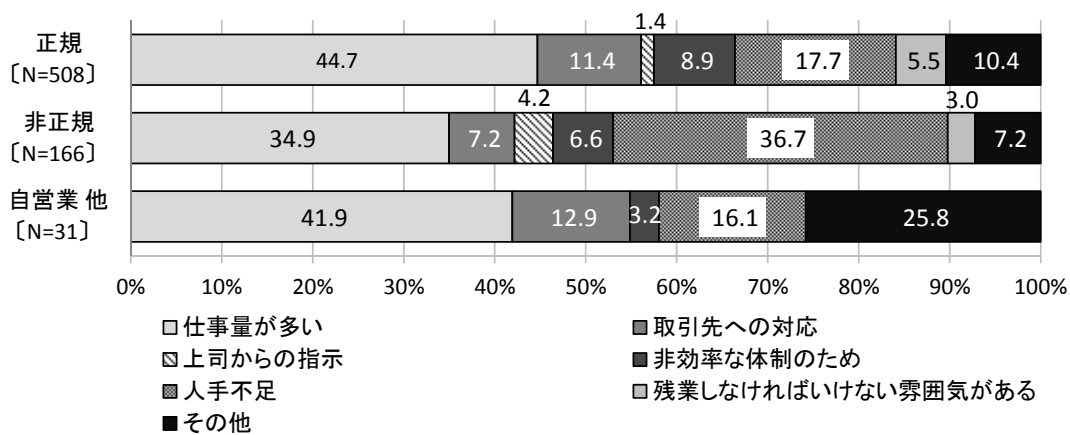
【前回調査との比較】



【性別（時間外労働が発生する原因）】



【正規・非正規の別（時間外労働が発生する原因）】



(4) 時間外労働削減のために有効だと思う手段

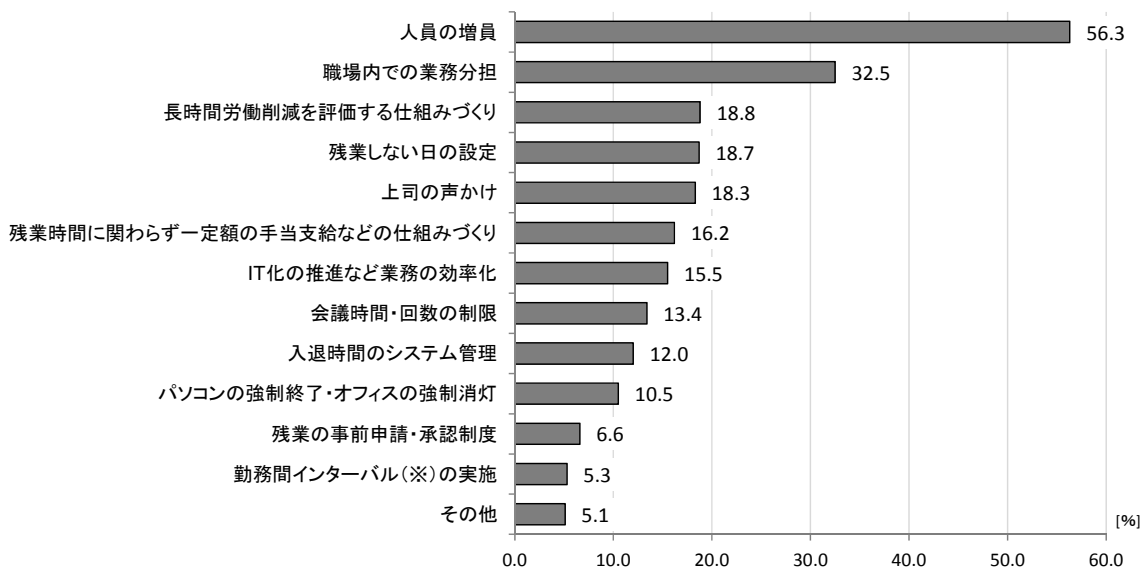
： (4) 時間外労働削減のために有効だと思う手段は何だと思いますか。【いくつでも○】

時間外労働削減のために有効だと思う手段については、「人員の増員」が 56.3%と最も高く、次いで「職場内での業務分担」(32.5%)、「長時間労働削減を評価する仕組みづくり」(18.8%)の順となっている。

性別で見ると、〈男性〉〈女性〉ともに「人員の増員」の割合が最も高くなっている。また、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「長時間労働削減を評価する仕組みづくり」の割合が高くなっている。

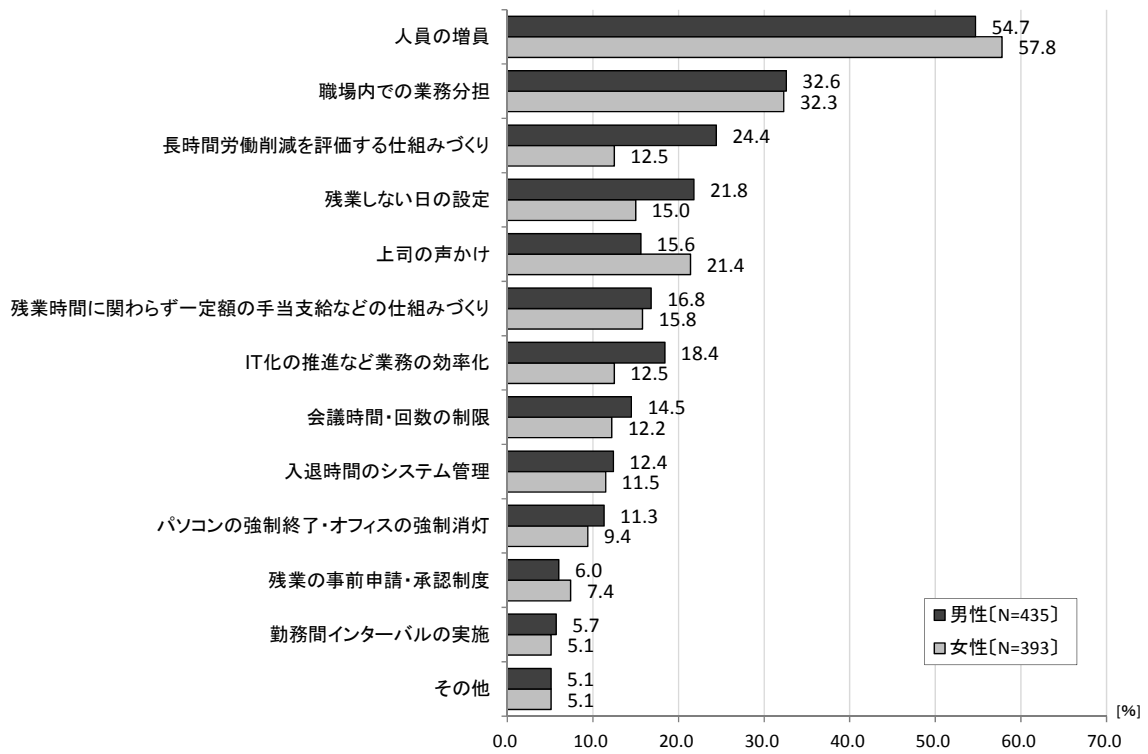
正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は〈非正規〉、〈自営業 他〉に比べ、「長時間労働削減を評価する仕組みづくり」の割合が高くなっている。

■時間外労働削減のために有効だと思う手段〔回答数=831〕

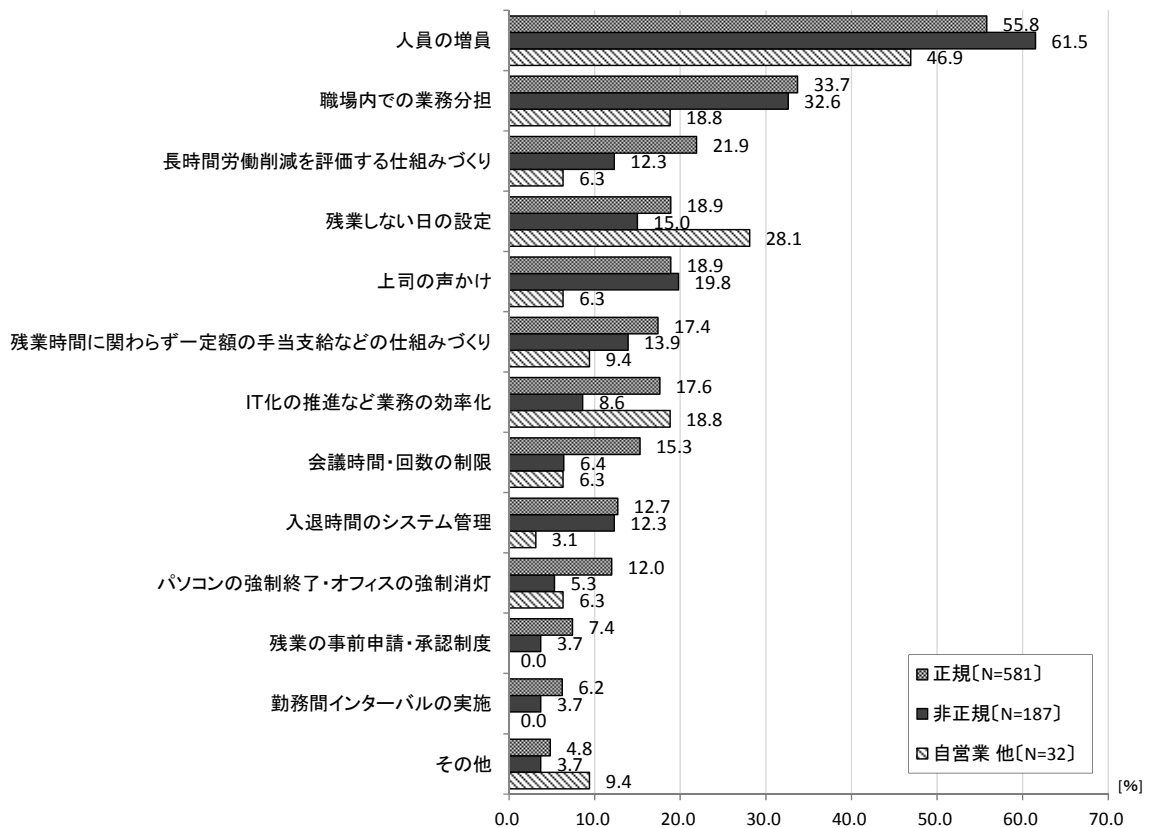


※ 勤務間インターバル：勤務終了後、次の勤務までに一定時間以上の休息時間を設けること

【性別（時間外労働削減のために有効だと思う手段）】



【正規・非正規の別（時間外労働削減のために有効だと思う手段）】



C 有給休暇

(1) 有給休暇の取得状況

(1) 有給休暇の取得状況についてどのように感じますか。【1 つに○】

有給休暇の取得状況については、「取得できているが不十分」が 32.7%と最も多く、次いで「十分に取得できている」(28.7%)、「取得できていない」(27.3%)の順となっている。「その他」には、「有給がない」、「有休日数が分からない」等の回答が多く見られた。

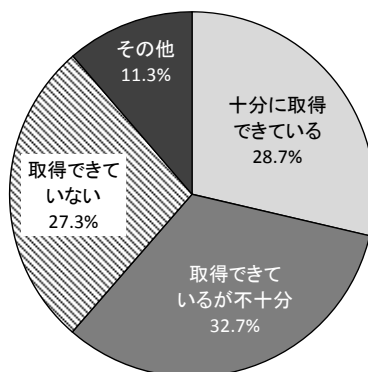
前回調査との比較では、「取得できているが不十分」の割合が 5.5 ポイント増加している。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「取得できていない」の割合が高く、3 割以上を占めている。

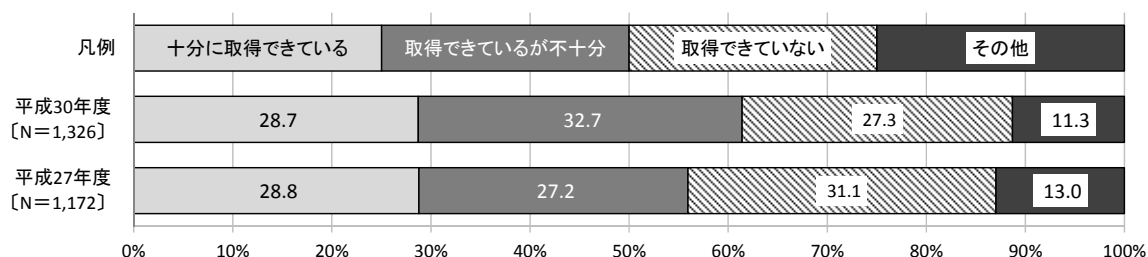
性別・年代別でみると、〈男性〉では〈20～24 歳〉、〈25～29 歳〉、〈35～39 歳〉で「十分に取得できている」の割合が 2 割を下回っている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉が〈非正規〉に比べ、「十分に取得できている」の割合が低くなっているが、「十分に取得できている」と「取得できているが不十分」の合計は、〈非正規〉〈自営業 他〉に比べ、高くなっている。

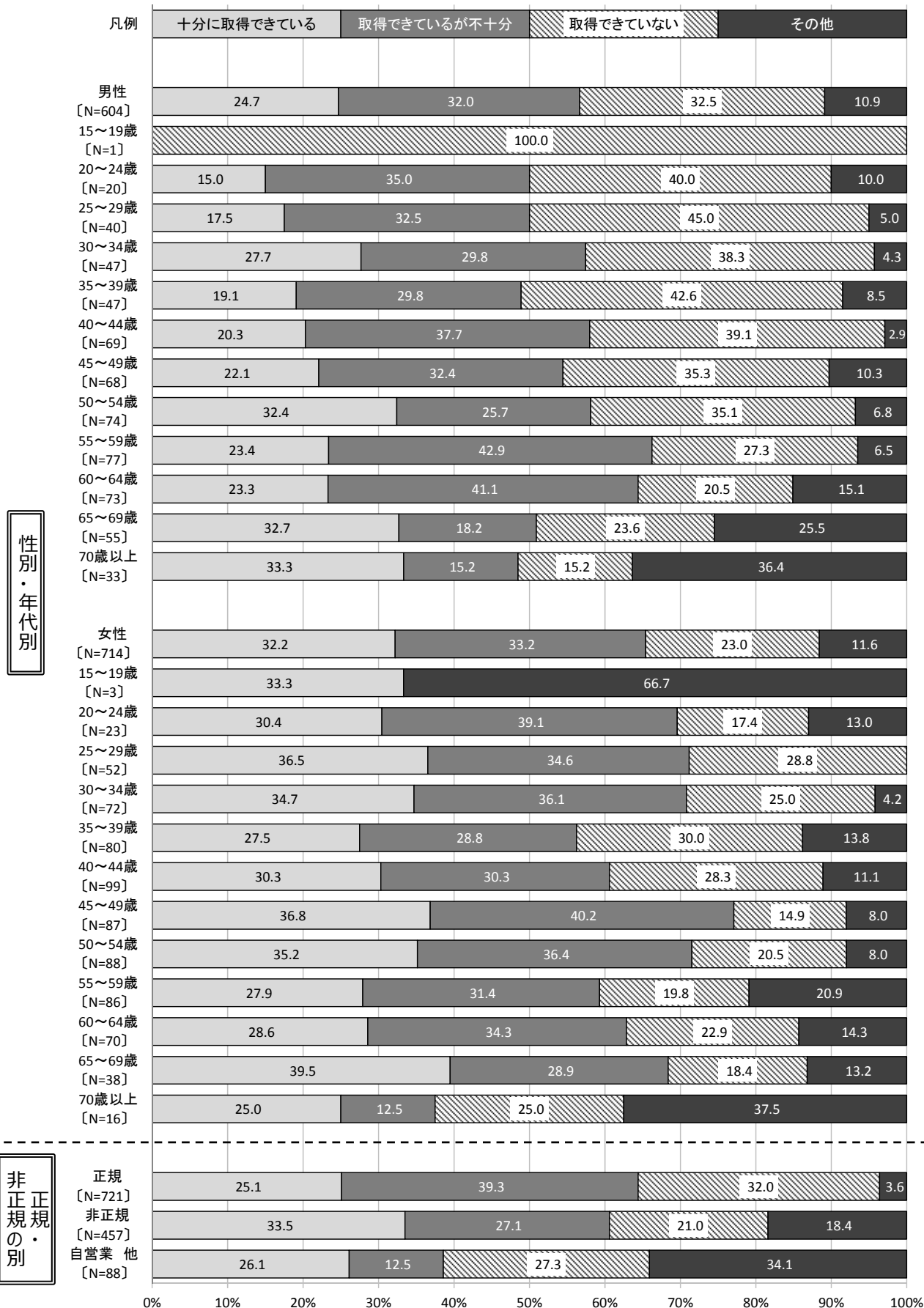
■有給休暇の取得状況〔回答数 = 1,326〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（有給休暇の取得状況）】



性別・年代別

非正規の別

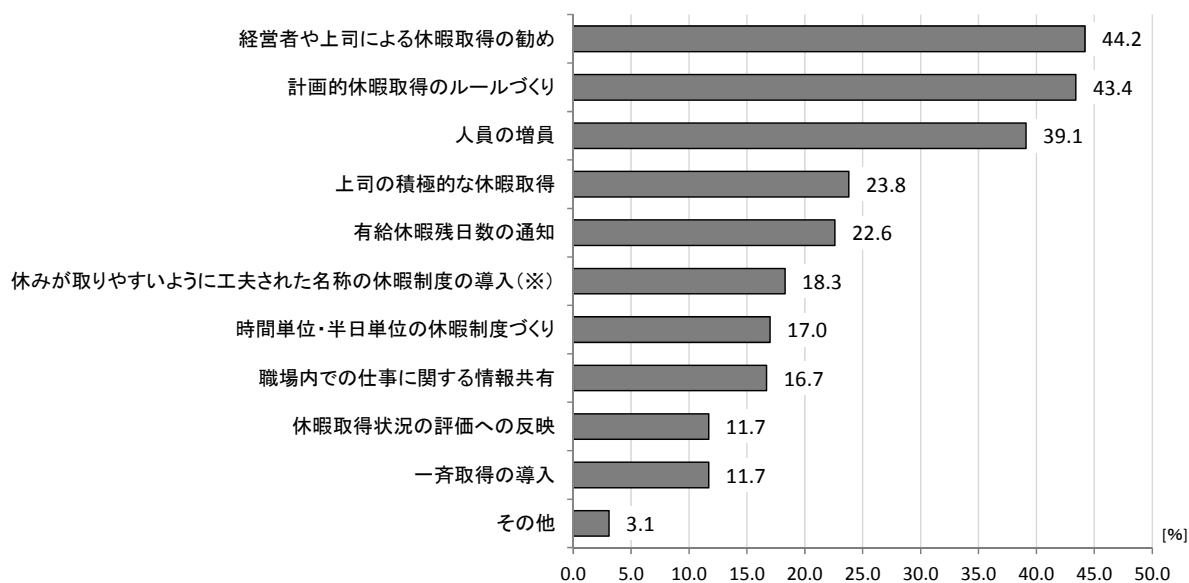
(2) 有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段

： (2) 有給休暇取得率向上のために有効だと思う手段は何だと思いますか。【いくつでも〇】

有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段については、「経営者や上司による休暇取得の勧め」が 44.2%と最も高く、次いで「計画的休暇取得のルールづくり」(43.4%)、「人員の増員」(39.1%)の順となっている。

性別・年代別、正規・非正規の別では、特に大きな差は見られない。

■有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段〔回答数=1,304〕



※ 例えば、アニバーサリー休暇、ファミリー休暇、ボランティア休暇など

【性別・年代別／正規・非正規の別（有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段）】

※■は第1位、■は第2位、■は第3位の項目

上段:回答数 下段:回答割合(%)		合計	計画的休暇取得の ルールづくり	経営者や上司による 休暇取得の勧め	上司の積極的な休暇取得	休暇取得状況の 評価への反映	職場内での仕事に関する 情報共有	有給休暇残日数の通知	人員の増員	時間単位・半日単位の 休暇制度づくり	休みが取りやすいように 工夫された名称の 休暇制度の導入	一斉取得の導入	その他
男性	小計	597 100.0	281 47.1	258 43.2	145 24.3	88 14.7	98 16.4	119 19.9	228 38.2	93 15.6	84 14.1	88 14.7	21 3.5
	15～19歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-
	20～24歳	19 100.0	8 42.1	11 57.9	3 15.8	1 5.3	4 21.1	2 10.5	9 47.4	2 10.5	-	4 21.1	-
	25～29歳	39 100.0	22 56.4	19 48.7	9 23.1	8 20.5	4 10.3	10 25.6	15 38.5	8 20.5	9 23.1	8 20.5	1 2.6
	30～34歳	46 100.0	24 52.2	23 50.0	20 43.5	10 21.7	8 17.4	10 21.7	22 47.8	8 17.4	8 17.4	9 19.6	-
	35～39歳	46 100.0	24 52.2	27 58.7	15 32.6	11 23.9	8 17.4	8 17.4	22 47.8	3 6.5	7 15.2	10 21.7	1 2.2
	40～44歳	69 100.0	24 34.8	29 42.0	19 27.5	18 26.1	10 14.5	12 17.4	32 46.4	11 15.9	10 14.5	9 13.0	3 4.3
	45～49歳	69 100.0	31 44.9	28 40.6	18 26.1	12 17.4	11 15.9	13 18.8	31 44.9	10 14.5	15 21.7	9 13.0	1 1.4
	50～54歳	74 100.0	37 50.0	38 51.4	19 25.7	11 14.9	10 13.5	18 24.3	23 31.1	13 17.6	9 12.2	9 12.2	2 2.7
	55～59歳	77 100.0	39 50.6	30 39.0	12 15.6	10 13.0	11 14.3	11 14.3	27 35.1	12 15.6	11 14.3	19 24.7	1 1.3
	60～64歳	71 100.0	32 45.1	22 31.0	16 22.5	4 5.6	14 19.7	17 23.9	22 31.0	12 16.9	8 11.3	3 4.2	3 4.2
	65～69歳	53 100.0	26 49.1	22 41.5	8 15.1	2 3.8	10 18.9	12 22.6	17 32.1	9 17.0	4 7.5	4 7.5	3 5.7
	70歳以上	32 100.0	13 40.6	9 28.1	6 18.8	1 3.1	8 25.0	4 12.5	7 21.9	4 12.5	2 6.3	3 9.4	6 18.8
	女性	小計	699 100.0	282 40.3	315 45.1	164 23.5	65 9.3	120 17.2	176 25.2	279 39.9	128 18.3	152 21.7	65 9.3
15～19歳		3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-	2 66.7	-	-
20～24歳		21 100.0	7 33.3	9 42.9	6 28.6	3 14.3	-	8 38.1	9 42.9	4 19.0	5 23.8	1 4.8	-
25～29歳		52 100.0	29 55.8	26 50.0	13 25.0	4 7.7	8 15.4	14 26.9	26 50.0	6 11.5	10 19.2	8 15.4	-
30～34歳		73 100.0	28 38.4	36 49.3	27 37.0	12 16.4	17 23.3	20 27.4	24 32.9	15 20.5	18 24.7	12 16.4	1 1.4
35～39歳		80 100.0	30 37.5	44 55.0	21 26.3	9 11.3	14 17.5	21 26.3	36 45.0	22 27.5	21 26.3	7 8.8	3 3.8
40～44歳		98 100.0	33 33.7	50 51.0	28 28.6	10 10.2	23 23.5	26 26.5	39 39.8	22 22.4	18 18.4	3 3.1	2 2.0
45～49歳		86 100.0	27 31.4	30 34.9	25 29.1	6 7.0	14 16.3	21 24.4	37 43.0	15 17.4	26 30.2	8 9.3	1 1.2
50～54歳		87 100.0	38 43.7	38 43.7	18 20.7	8 9.2	8 9.2	21 24.1	32 36.8	18 20.7	23 26.4	10 11.5	3 3.4
55～59歳		83 100.0	35 42.2	39 47.0	14 16.9	2 2.4	9 10.8	19 22.9	33 39.8	12 14.5	17 20.5	9 10.8	3 3.6
60～64歳		68 100.0	29 42.6	28 41.2	8 11.8	6 8.8	16 23.5	16 23.5	29 42.6	10 14.7	8 11.8	2 2.9	2 2.9
65～69歳		37 100.0	21 56.8	10 27.0	3 8.1	5 13.5	7 18.9	8 21.6	11 29.7	4 10.8	2 5.4	5 13.5	3 8.1
70歳以上		11 100.0	3 27.3	3 27.3	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	3 27.3	-	2 18.2	-	1 9.1
非正規の別		正規	722 100.0	322 44.6	332 46.0	198 27.4	111 15.4	124 17.2	149 20.6	300 41.6	116 16.1	150 20.8	107 14.8
	非正規	441 100.0	178 40.4	199 45.1	91 20.6	32 7.3	70 15.9	123 27.9	170 38.5	85 19.3	71 16.1	28 6.3	15 3.4
	自営業 他	85 100.0	36 42.4	25 29.4	13 15.3	4 4.7	15 17.6	12 14.1	19 22.4	14 16.5	9 10.6	9 10.6	9 10.6

D 育児休業・介護休業

(1) 育児休業制度・介護休業制度の有無

(1) あなたの職場には育児休業制度・介護休業制度がありますか。【1つに○】

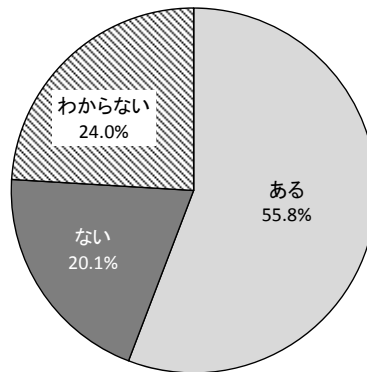
①育児休業制度の有無

育児休業制度の有無については、「ある」が55.8%と最も多く、次いで「わからない」(24.0%)、「ない」(20.1%)の順となっている。

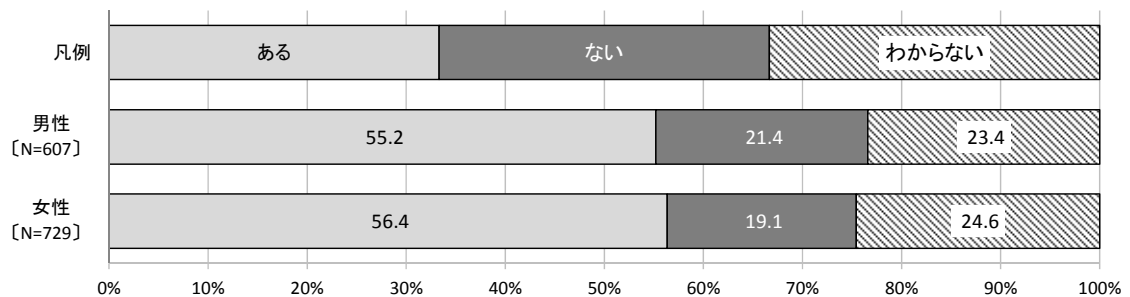
性別で見ると、特に大きな差は見られない。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は〈非正規〉に比べ、「ある」の割合が高くなっているが、〈非正規〉は「わからない」の割合が高く、3割以上を占めている。また、〈自営業 他〉では「ない」が5割以上を占めている。

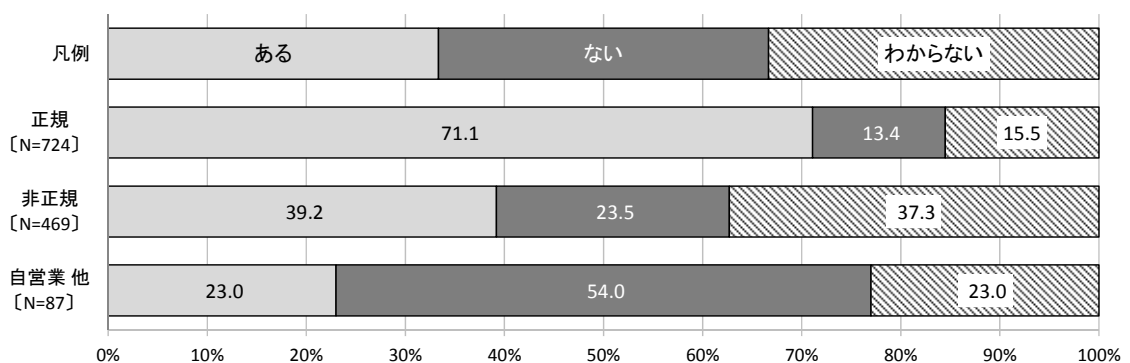
■育児休業制度の有無〔回答数=1,340〕



【性別】



【正規・非正規の別】



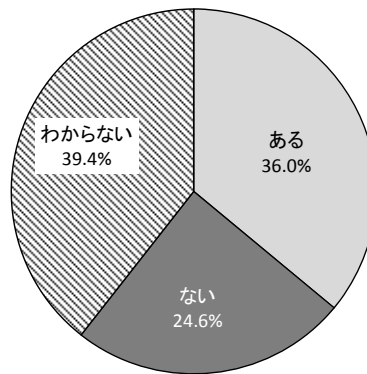
②介護休業制度の有無

介護休業制度の有無については、「わからない」が39.4%と最も多く、次いで「ある」(36.0%)、「ない」(24.6%)の順となっている。

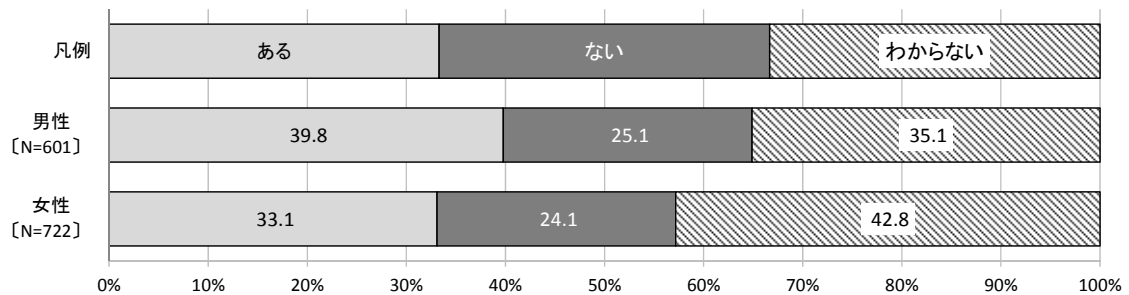
性別でみると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「わからない」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉は〈非正規〉に比べ、「ある」の割合が高くなっているが、〈非正規〉は「わからない」の割合が高く、5割以上を占めている。また、〈自営業 他〉では「ない」が5割以上を占めている。

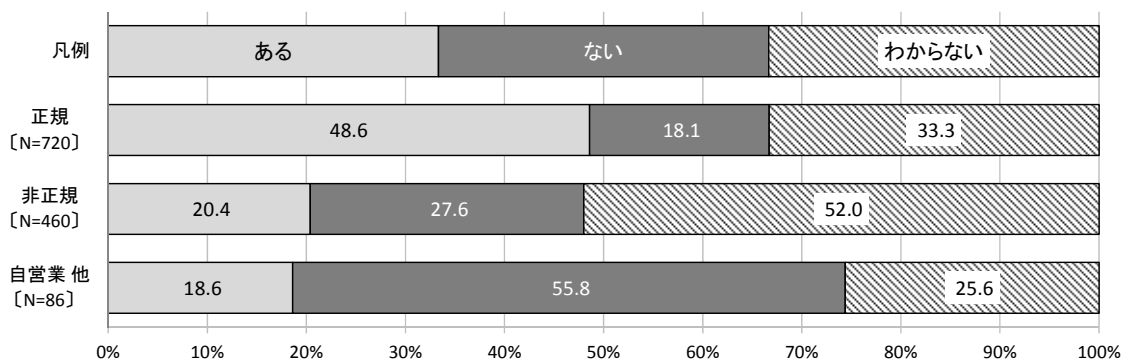
■介護休業制度の有無〔回答数=1,327〕



【性別】



【正規・非正規の別】



(2) 育児休業・介護休業の取得しやすさ

： (2) あなたの職場は育児休業・介護休業が取りやすい職場だと思いますか。【1つに○】

①育児休業の取得しやすさ

育児休業の取得しやすさについては、「取りやすい」が60.1%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(23.9%)、「取りにくい」(16.1%)の順となっている。

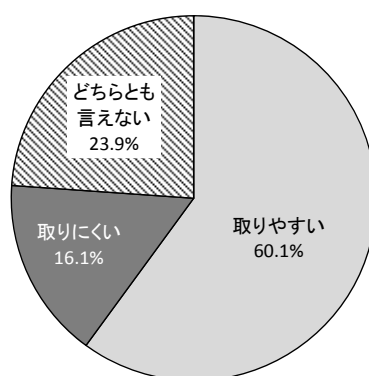
前回調査との比較では、特に大きな差は見られない。

性別で見ると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「取りやすい」の割合が高くなっている。

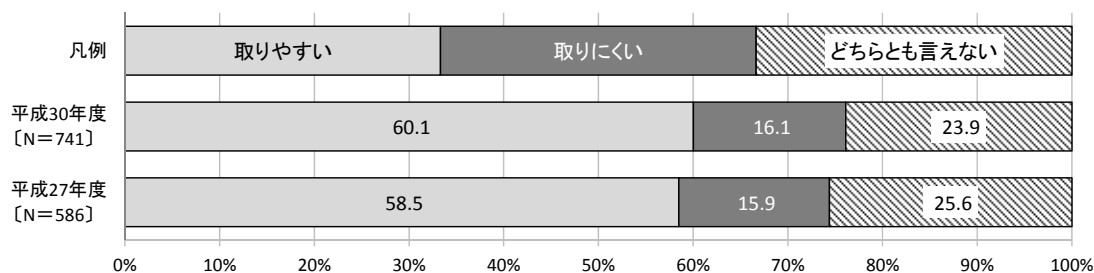
性別・年代別で見ると、〈男性〉では、〈30～34歳〉、45歳以上64歳以下で「取りやすい」が5割を超えている。〈女性〉では、すべての年代で「取りやすい」が5割を超えている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は〈非正規〉、〈自営業 他〉に比べ、「取りにくい」の割合が高くなっている。

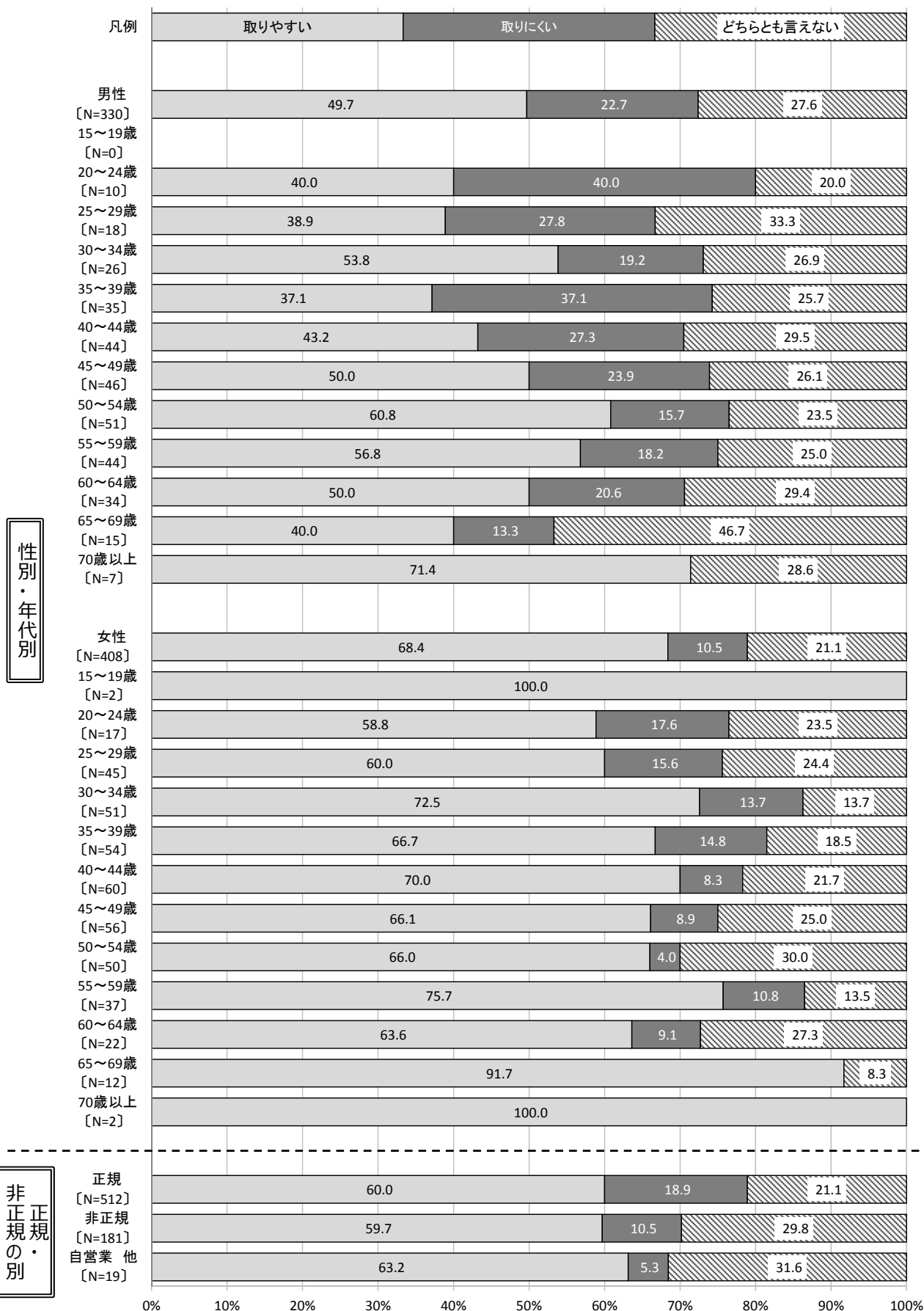
■育児休業の取得しやすさ〔回答数=741〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（育児休業の取得しやすさ）】



②介護休業の取得しやすさ

介護休業の取得しやすさについては、「取りやすい」が41.8%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」(38.0%)、「取りにくい」(20.3%)の順となっている。

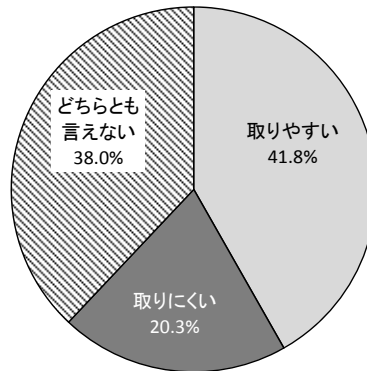
前回調査との比較では、特に大きな差は見られない。

性別でみると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「取りやすい」の割合が高くなっている。

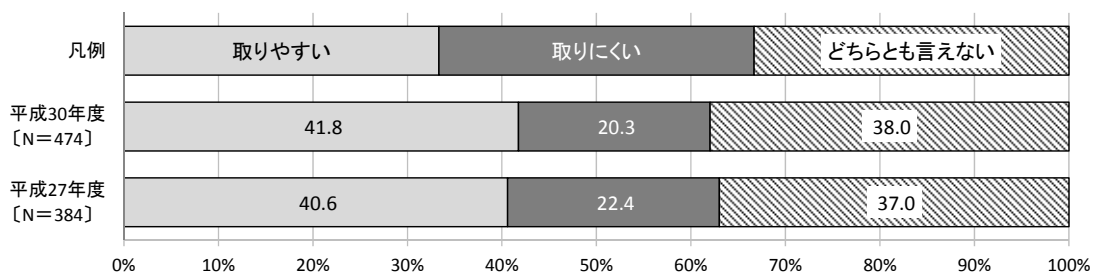
性別・年代別でみると、〈男性〉では〈35～39歳〉で「取りにくい」の割合が「取りやすい」の割合を超えており、年代が上がるほど「取りやすい」の割合が高くなる傾向がある。また、〈女性〉では、30歳以上39歳以下、〈45～49歳〉、55歳以上で「取りやすい」が5割を超えている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉は前述した育児休業と同様に「取りにくい」の割合が高くなっている。

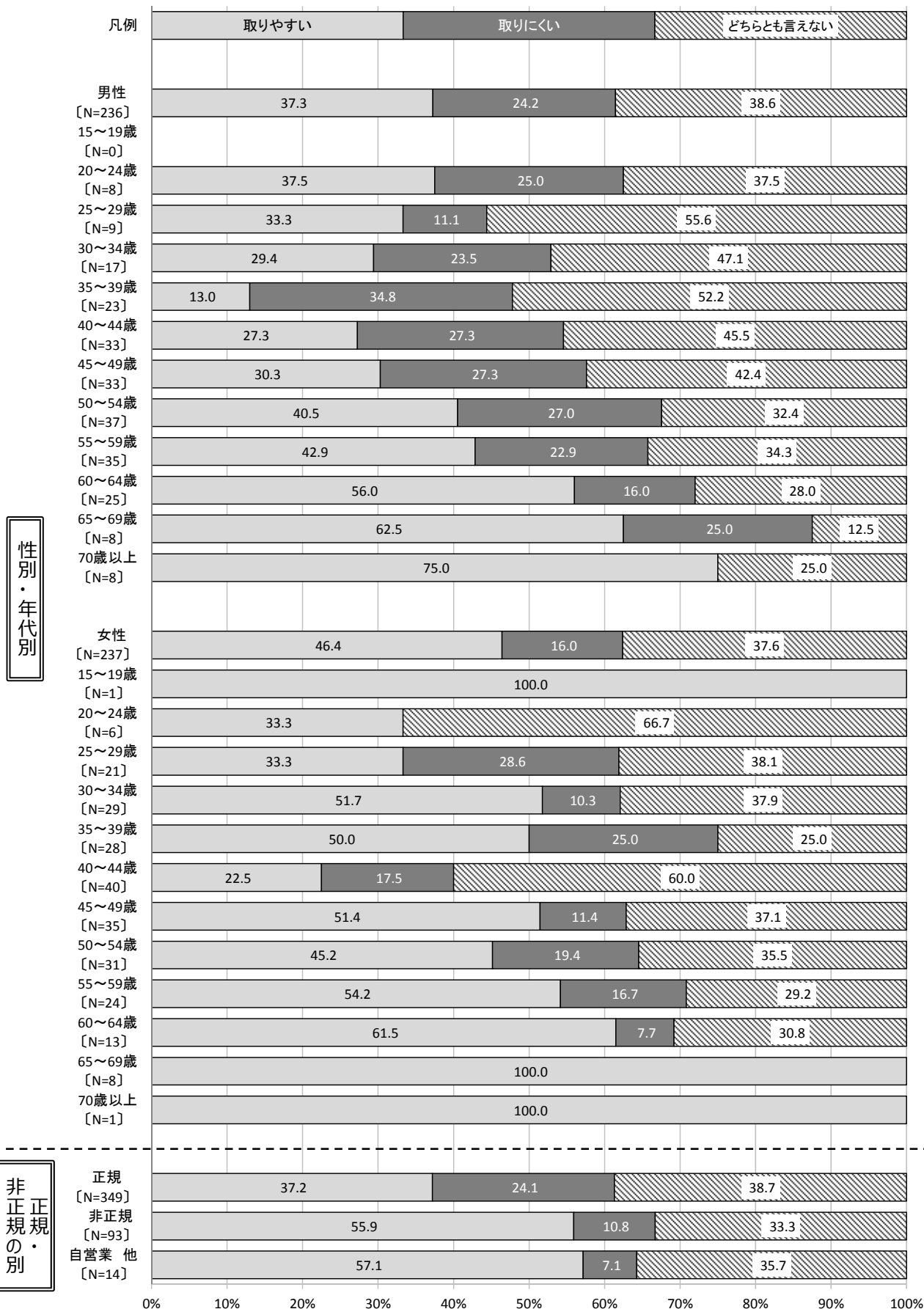
■介護休業の取得しやすさ〔回答数=474〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（介護休業の取得しやすさ）】



(3) 育児休業・介護休業が取りにくいと思われる要因

… (3) そのように思われる一番の要因は何ですか。【1つに○】

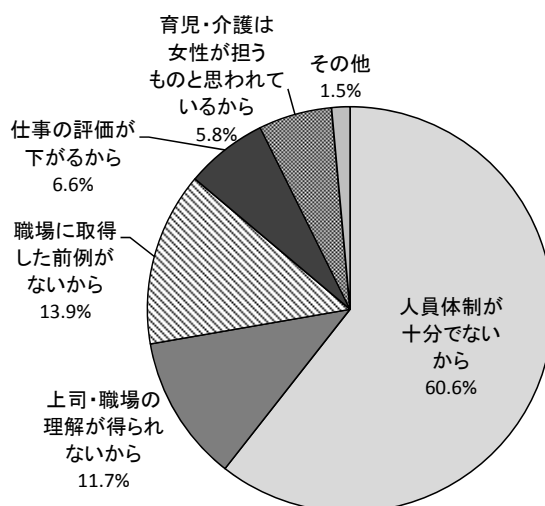
育児休業・介護休業が取りにくいと思われる要因については、「人員体制が十分でないから」が60.6%と最も多く、次いで「職場に取得した前例がないから」(13.9%)、「上司・職場の理解が得られないから」(11.7%)の順となっている。

性別で見ると、〈男性〉〈女性〉ともに「人員体制が十分でないから」の割合が最も高くなっているが、〈女性〉は「職場に取得した前例がないから」の割合も比較的高い。

性別・年代別で見ると、〈男性〉では、〈35～39歳〉で「職場に取得した前例がないから」、40歳以上49歳以下で「仕事の評価が下がるから」の割合が高くなっている。〈女性〉では、〈25～29歳〉で「育児・介護は女性が担うものと思われているから」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈非正規〉は〈正規〉に比べ、「人員体制が十分でないから」の割合が高くなっている。また、〈正規〉で「職場に取得した前例がない」、「仕事の評価が下がるから」の割合が比較的高くなっている。

■取りにくいと思われる要因〔回答数=137〕



【性別・年代別／正規・非正規の別（取りにくいと思われる要因）】

